

7月の大雨により、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

8月には、日本で一番暑い地点にまさかの秋田県の地名が上がり驚きましたが、まだまだ残暑が厳しいですね。
高卒採用もいよいよ選考開始です。何かお手伝いできることがございましたら、お声掛けください。



「あきた次世代エネルギーコンソーシアム」発足！



この度、秋田県における次世代燃料として注目される水素やアンモニアを製造し、活用方法を考える「あきた次世代エネルギーコンソーシアム」が設立されました。

2023年7月5日の設立総会では、コンソーシアムの会長に国立大学法人秋田大学工学部の浜岡秀勝教授が選出されました。副会長には秋田いすゞ自動車株式会社の代表取締役社長 辻良之氏、株式会社ウェンティ・ジャパンの代表取締役社長 佐藤裕之氏、秋印株式会社の代表取締役 三浦征善氏、幹事長に三国商事株式会社の代表取締役社長 三国晋一郎氏が就任しました。

秋田県の強みは、国内屈指の風力発電の潜在能力があることです。また、秋田県は、全国の中でも風力発電の設置が先行しているため、産・官・学の連携体制の構築が容易であることも挙げられます。「時にはやっかいなものである秋田の風が資源となる。まず秋田で事業モデルを作り、産業を集め、県内企業を中心となって貿易赤字を止め、外貨を稼ぐ。そして、地域課題である人口減少と若い労働力の流出を食い止めたい。」と幹事長の三国氏は今後の展望について言葉に力を込めました。

これからの活動と、秋田の新しい産業に期待したいですね！



COURSE 秋田 Web
にて詳しく
紹介しています

5月の秋田採用勉強会をちょっとだけ内容共有！

「解禁日目前！今からできる応募につなげる7つの施策」と題して、5月にオンラインにて秋田採用勉強会を開催いたしました。多くの企業様と特別ゲストとして秋田県内高等学校で実際に就職指導を行っている教員と就職支援員の方にご参加いただきました。誠にありがとうございました。第三部では、特別ゲストの秋田県内の高等学校で実際に就職指導を行っている教員・就職支援員の方を交え、グループごとに分かれて様々なテーマについて話し合い、情報交換を行いました。

例えば…高校の先生への質問には

Q. マスク着用も「個人の判断」となりましたが、進路指導で就職面接などについて、学校としては今後どの方向に指導していく予定か、教えてください。

- ◆マスクについてはあくまでも個人の判断に任せる予定です。会社側から指示がある場合、その旨を生徒に伝えることになります。
- ◆マスク着用は個人の判断とするが、応募前職場見学や採用選考日等で企業側から指示があった場合はその指示に従います。
- ◆外していく方向で指導したいが難しいです。 ◆外して笑顔を見せる方がよい、と指導します。

Q. 生徒はだいたい一人何社くらいの応募前職場見学に参加しますか。また、先生は何社くらい参加するように指導されていますか。

- ◆一人2～3社参加しています。 ◆複数行くように指導しています。
- ◆本人が希望する企業に参加します。似ている職種を選ぶ生徒もいます。
- ◆三年生は応募前職場見学への参加は必須です。事前に企業の情報を得てから、一人2社くらい参加します。

などなど…。こちらはほんの一部のご紹介です。

高卒採用いよいよ選考開始！もしものために「二次募集」の準備も！

9月16日からいよいよ高卒採用の選考が始まります。面接の内容を再度確認したりと、大変忙しいことと思います。今は目の前の選考に向かっていて手がいっぱい…と感じているかもしれませんが、「もしも」のことも考えておきましょう。

「もしも一次募集に応募数が予定よりも少なかったら…」
「もしも一人も応募が来なかったら…」

こんなこともあるかもしれませんので、二次募集の準備を早めに考えておくことをお勧めします。一次採用試験が終わった段階で、求人が充足したために求人票を下げる企業もありますが、引き続き二次募集をする企業もあると思います。学校の先生が二次募集に進む生徒のために、情報をたくさんほしいのがこの時期になります。どの企業が「引き続き募集をかけているのか」をいち早く知りたいんですね。

「まだ自分の会社は高校生を募集している」ということを、生徒や高校の先生にアピールすることがとても重要になってきます。

二次募集を行うために企業は、再度求人票を送るなど、高校へ積極的に働きかけることが大事になりますので、例えば、接触したことがある高校へ再度訪問や電話かけをしていただけたらと思います。

高校への二次募集のアピールポイント

- ・一次選考の結果が学校に揃う前に
- ・高校に直接連絡を（電話、訪問、FAX など）
- ・一次募集で連絡していたとしても、再度連絡をする



社員インタビュー
の動画です
ぜひチェックを！

また、パンフレットなどの会社資料に動画の QR コードを載せて、学生の皆さんに、自社に興味を持ってもらったり、より理解が深まるようにすることがオススメです。

「社員の一日の仕事に密着したもの」や、「一日の業務内容」、「募集要項・福利厚生について」や、「オフィス紹介」、また、「データで見る企業情報」など、さまざまなパターンを作ってみても良いかと思いますが、今回は弊社の「社員インタビュー」について作成してましたので、ご覧ください。

秋田県の豆知識

今回は、秋田の涼しい場所です。こんなに毎日暑いと、ぜひ行きたいですね…！

Q1 大館市の北部の国見山の麓に位置し、真夏でも 0～5℃の冷風を吹き出しているため、明治の終わりから大正時代にかけて斜面のところで風穴倉庫が作られました。冷蔵庫として使用されてきた、大館市の風穴の名前は？「天然のクーラー」夏はイチオシのスポットですね！

Q2 鳥海山の溶岩の末端崖から溢れ出す湧水がつくる、にかほ市にある滝の名前は？湧き出す水の水温は一年を通してほぼ 10 度。夏には冷たい湧水と周囲の気温との温度差によって滝の周りに霧が生じ、幻想的な景観が見られるそう。マイナスイオン浴びたいですね♪

Q3 約 1300 年前に開山されたと言われるこの鉱山は金と銅が枯渇して 1978 年に閉山してからは国内最大級の金・銅鉱脈採掘跡を見学できます。坑道内は年間を通して気温が 13 度ほどで、夏場は上に羽織るものが必要なほど涼しい！砂金採り体験も気になります！

Q4 アイヌ語の「ルココツイ（清い水たまりのある所）」がなまったものが地名である、と言われるほど古くから各所に清水が湧き出している美郷町六郷。現在でも町の人々の生活と密着した清水ですが、六郷地区の湧水を総称して、何と呼ばれていますか？

1. 長走風穴（大館市）
2. 元滝伏流水（にかほ市）
3. 尾去沢鉱山（鹿角市）
4. 六郷湧水群（美郷町）

TownJoho あきたタウン情報
秋田の楽しいコト、みつけよう！

株式会社 あきたタウン情報 担当：中田
〒010-0952 秋田県秋田市山王新町 1-29
Tel.018-838-1225 Fax.018-838-1077